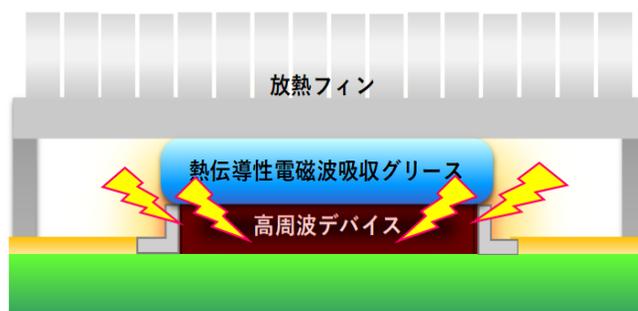


## 放熱性を維持しながらミリ波帯域ノイズを吸収するグリース ラインナップ拡充！電子機器の生産工程短縮

株式会社巴川製紙所（本社：東京都中央区、代表取締役社長：井上善雄、以下 巴川製紙所）は、放熱性を維持しながらミリ波帯域（20～110GHz）のノイズ吸収特性を有するグリースを改良し、一液タイプを開発、ラインナップを拡充しました。これにより顧客の生産設備に合わせた製品を提供、生産工程の短縮にも貢献することができるようになりました。



電磁波ノイズ吸収と放熱の両立が可能

- ◆ 近年、自動車分野や情報通信分野で用いられる電子機器は小型化と高出力化が進んでおり、その性能を発揮するためには、電磁波ノイズや熱に対するソリューションが課題となっています。
- ◆ 巴川製紙所が培ってきた処方設計技術を活かし、ミリ波帯域の電磁波吸収と高熱伝導の両性能を持たせた**一液タイプのグリースを開発**しました。
- ◆ 電子デバイスと筐体・冷却部材の間にグリースを充填することにより、**電磁波と熱の問題を同時に解決**します。
- ◆ 従来の二液タイプに加え一液タイプをラインナップしたことにより、顧客の**生産設備に合わせて提供**でき、**生産工程の短縮にも貢献**することができるようになりました。
- ◆ 一液タイプ、二液タイプともに、電磁波吸収特性、放熱特性を**カスタマイズ**できます。

項目	数値
周波帯域	20～110GHz
熱伝導率	3.5W/m・k
直流体積抵抗率	10 <sup>9</sup> Ωcm以上
誘電正接	0.4以上

上記値は測定値であり保証値ではありません



巴川製紙所は、これからもお客様の最良のパートナーとして、時代のニーズに応えた製品づくり、新しい価値を創出し続けることに努めてまいります。

【お問い合わせ先】

株式会社巴川製紙所 iCasカンパニー企画室

〒104-8335 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー7階

TEL : 03-3516-3405 E-mail : eisui\_info@tomoegawa.co.jp